

# 日本福祉大学

## 山形最上オフィス通信

第14号 発行日：2014年10月14日

### 「支え合い、共に生きる地域をつくる －住民の可能性と専門職の力－」

日本福祉大学では、全国で医療・福祉・教育などを現代社会の課題をテーマにした文化講演会や、同窓生への本学近況報告、学生の様子についてご相談に応じる父母懇談会などの「日本福祉大学セミナー」を開催しています。7月12日に山形市内でも開催されました。

文化講演会では、「地域で起きている様々な生活課題を共有しながら“暮らし続けたい”という思いを実現するための地域づくり」について、社会福祉学部長補佐の小松理佐子教授にお話をいただきました。

自宅で最期を迎えたいという考えの人が多いのに対し、過疎化や高齢化が進み福祉への影響が出ている現代。暮らし続けるには、自分で頑張る「自助」・国や社会で支える「公助」・自助や公助で出来ない部分を補う「共助」が重要なポイントとなってくる、と小松教授は語りました。

岐阜や高知などで行われている、NPOや社協・自治体と連携した取り組みが紹介され、参加された多くの市民の方々、同窓生の皆さんは熱心に聞き入る姿が見られました。

### 2014年7月12日 － 山形県地域同窓会再建の日 年代・学部を越えた交流で「タイムスリップ the 学生」!

セミナーに合わせて山形県地域同窓会の総会と集いの会も行われ、約30名もの同窓生が参加しました。総会では事業計画や収支予算等を審議したほか、新たな役員体制も決定しました。

集いの会では、体を動かすゲーム大会でコミュニケーションを図ったり、実行委員会で集めた写真や動画を編集したスライドショーを上映しました。それぞれのテーブルからは、笑いと思い出話が聞こえてきます。また、枋中キャンパス・美浜キャンパス



・通信教育部で大学生活を過ごしたそれぞれの代表が日福大での思い出を語り、同じ大学とは言え年代やキャンパスにより大きく異なる大学生活に、皆さん興味津々でした。

3年振りの集まりとなった山形県地域同窓会は終始和やかな時間となり、同窓生同士の親睦を深める場として考案した「集いの会」を成功させるべく、様々な企画を練り話し合いと準備を重ねてきた実行委員会メンバーも、参加者の笑顔を見て安堵の表情を浮かべていました。

次回もより多くの同窓生に参加してもらえるような地域同窓会にしようと誓った1日となりました。

#### 目次

- 1) 山形セミナー 講演会・同窓会
- 2) 社会福祉学部フィールドワーク
- 2) 在学生インタビュー
- 3) 特定施設専門研修
- 3) 福祉機器アイデアコンテスト
- 3) 日本福祉大学ニュース
- 3) 東海キャンパス開設
- 4) 奨学金・入試情報



## 地域福祉を見つめる社会福祉学部フィールドワーク ～豪雪地帯での「ふだんのくらしのしあわせ」とは？～

8月18日～20日、本学社会福祉学部の小松理佐子教授とそのゼミの学生たちが最上町に来町し、フィールドワークを行いました。フィールドワークは毎年行われており、今年は3年・4年・大学院生合わせて19名が参加しました。

今年のテーマは「最上町の豪雪対策」。日福大では「ふくし」を「ふだんのくらしのしあわせ」だと指しています。豪雪地帯からすれば、雪が降る暮らし＝普通の暮らし。豪雪地帯が抱える問題を見つめ、どう快適な暮らしに変えていけるかを考えます。

全国各地から学生が集まっているとはいえ、雪の降らない地域出身の方が多いので、まず最上町はどのくらいの降雪・積雪なのか、どういったことが課題になっているの



かを理解するために事前学習に望みました。学習会の後は、各班わかれて実際に集落へ行き、住民の方や除雪担当の方と一緒に危険箇所や設備のある場所のチェックとヒアリングをして回りました。現地を見たあとは、何が問題であったか、こうしたら改善・解決できるのではないか？と感じたこと、思いついたアイデア等を話し合いました。

これを午前・午後と行い、最後は全体で報告会を行いました。各班からは、「社協や行政が間に入っているルールづくりをする必要があると感じた」「支援が必要な人をリスト化し、住民同士での共助が大事だと思う」などの意見があがりました。今回のまとめは今後の豪雪対策会議などで活かされることになっています。

### 在学生インタビュー 大学選びで大切なのは「自分の好きなことを学べるかどうか」。

もともと中学生の頃から福祉と経済に興味がありました。地元には福祉を学べる場所がなかったこともあり、商業高校に進学しました。経済の勉強が楽しかったので、大学でもそのまま経済について学ぼうかと迷いましたが、「知りたかったもうひとつの福祉を学んでみよう」と日福大への入学を決意しました。

サークルは、山形では見たことがなかった大道芸に入りました。初めは全然出来なかったんですが、練習しているうちにコツを掴め「やれば出来るんだ」と実感し、それが楽しくてハマりました！施設からパフォーマンスを依頼されたりすることもあります。あと、居酒屋でのアルバイトもしていて、お客さんに「笑顔がいいよね！」と褒められました。サークルとバイトのおかげで、1対20など大勢の人の前でも、前よりも明るく楽しく話せるようになったと思います。

2年次からは「医療福祉コース」で学んでいます。1年次に「面白そうだから」。「福祉」と「経済」の授業は視点の違いが面白いと感じます。

出来れば山形県やその周辺で就職したいので、就職先が心配になりましたが、

周りから「良い学校に行きなさい」とよく言われると思いますが、後悔しないように「自分の好きなことを勉強できる学校」を選ぶのが一番です！

社会福祉学部 社会福祉学科 2年 阿部 楓さん（山形県立酒田光陵高校出身）





## 特定施設専門研修が行われました

9月30日に仙台市にて全国特定施設事業者協議会主催の特定施設専門研修が行われました。日頃特定施設に従事されている方を対象に、「認知症ケア」「看取り介護」の実践に向けたものです。

「認知症ケア」の講師は、特定非営利活動法人「認知症の人とみんなのサポートセンター」を設立された沖田裕子先生。沖田先生は、利用者に対して「してあげたい」と思うことからケアを考える必要性を述べ、「職員や家族の心配からくる言葉は、利用者本人からすれば不快に捉えられることもある。相手の話をちゃんと聴くことから始めるケアが大事」と訴えました。

「看取り介護」の講師は日福大の同窓生であり、株式会社想の取締役事業本部長、統括施設長を務める吉村仁志先生。吉村先生は、自己紹介を行ったのち、「自己紹介＝自己開示は良い人間関係を作る重要なもの」と説いたうえで、ご自身の施設で実際にあったケースを紹介しながら、看取りの介護への取り組みの重要性を語りました。

グループディスカッションを通し参加者間の交流も深められた時間となり、研修後には「昨年参加していますが、今年の研修もとても勉強になりました。来年も必ず参加したいと思います。」という感想もいただきました。



## 第11回福祉機器 アイデアコンテスト



日本福祉大学健康科学部が主催となっている「福祉機器アイデアコンテスト」は、福祉機器や福祉用具、ユニバーサルデザイン、障がいの有無にかかわらず高齢者や妊婦さん、子どもなどの利用者ニーズに配慮したサービスについて、全国の高校生からアイデアを募集するものです。第11回目となる今回、391点もの応募があった自由課題の中から山形県の高校生の作品が入賞しました。

**自由課題 誰もが快適に暮らせるための「もの」や「サービス」の工夫**

**優秀賞 導く白杖 ～ lead white cane ～**

**山形県立長井工業高校3年 伊藤ひかるさん 山平香澄さん**

受賞おめでとうございます！

## ◆日本福祉大学ニュース◆

▶アーチェリー部の阿部麻莉奈さん(子ども発達学部2年・盛岡白百合学園高校出身)と佐々木菜摘さん(子ども発達学部1年・盛岡白百合学園高校出身)が2016年に開催される岩手国体の強化選手に指定されました。

▶福祉経営学部(通信教育)の山本克彦准教授が、NHKで放送されたハートネットTVに出演しました。



10月8日・9日に放送された番組テーマは「広島土砂災害地域を去る被災者の支援」。災害ソーシャルワークを研究テーマとしている山本准教授は、そのあり方について語られました。

## 2015年4月、 東海キャンパス開設



いよいよ来年4月、名古屋市に隣接する東海市に新キャンパスを開設します。名鉄「太田川」駅前、名鉄名古屋駅から約17分と通学に便利な立地です。

東海キャンパスには、現在設置認可申請中の看護学部と、美浜キャンパスから移転する経済学部、国際福祉開発学部の3学部が配置されます。

看護学部の入学試験要項の配布は認可後の11月上旬頃、募集開始は11月を予定していますので、看護学部を志望される方はお問い合わせ下さい。

## ■入学前に確定する〈本当に役立つ奨学金〉

日本福祉大学では、「挑戦する意欲」と家族構成や家計状況等の「くらしの状況」で選考し、入学前に確定する「経済援助学費減免奨学生」制度を用意しています。意欲ある方お待ちしております。

### A奨学生：4年間の授業料半額（70名）

…家計状況等により施設維持費も半額となる場合があります。

### A奨学生 災害救助法適用地域等特別枠：4年間の授業料半額（10名）

…家計状況等により施設維持費も半額となる場合があります。

### 兄弟・姉妹奨学生：2人目以降の兄弟姉妹の授業料半額（若干名）

…減免期間は兄弟姉妹の同時在学期間に限ります。

注）申請には教職員との事前面談が必要になりますので、一度オフィスまでお問い合わせください。  
申請資格や申請期間等の詳細は募集要項をご確認ください。

## ■入試情報

教職員との面談を経て出願すると入学検定料が1万円割引となる「持参割」で、新たに推薦入試も対象となります。

＜持参割の対象入試＞ 一般推薦入試、専門高校・総合学科等推薦入試、一般入試、センター試験利用入試

＜願書受付会＞ 日程：2015年1月24日(土) 13:00～16:00 会場：日本福祉大学 山形最上オフィス

※出願期間の窓口業務時間内にも随時受付を行いますので、事前にご連絡ください。

### ▼今後の主な入試スケジュール▼

	11月	12月	1月		
入試区分	・一般推薦入試前期 ・高卒認定,定時制,通信制高校入試 ・社会人入試	・AO入試後期 ・一般推薦入試後期 ・スポーツ推薦入試中期 ・文化芸術系部活動推薦	センター試験利用入試前期 全学部出願型	一般入試前期	センター試験利用入試前期 5,3,2教科型
出願期間	11月4日 ～11月17日	12月1日 ～12月8日	12月26日 ～1月16日	1月5日 ～1月26日	1月5日 ～1月30日
試験日	11月23日	12月14日	—	2月3日,4日,5日	—
合格発表	11月29日	12月19日	2月14日		

## 日本福祉大学 山形最上オフィス

〒999-6101 山形県最上郡最上町大字向町674 最上町立中央公民館内

電話：0233-43-9232 メール：yamagatabc@ml.n-fukushi.ac.jp